

野村サステナビリティ・ウィーク 2024

サステナビリティにおけるデット・キャピタル・マーケットの役割

2024年9月9日

ノムラ・インターナショナルplc
マネージング・ディレクター
デット・シンジケート・ヘッド

ニック・デント

金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する

We aspire to create a better world by harnessing the power of financial markets

はじめに

自己紹介

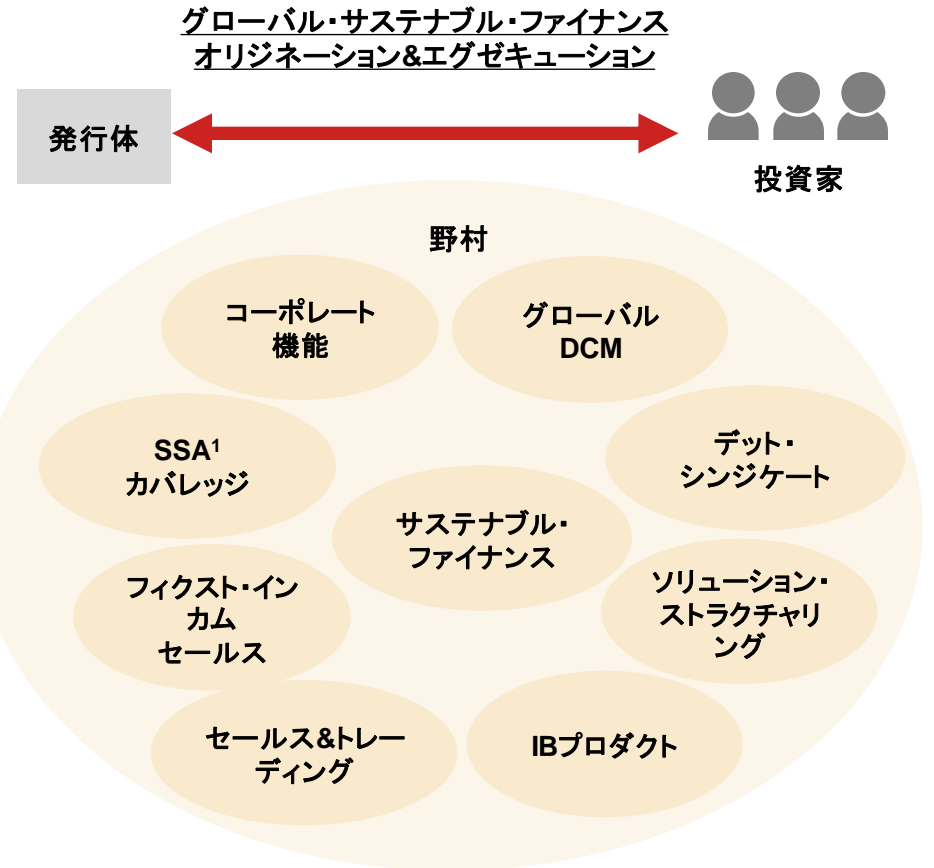


ニック・デント

マネージング・ディレクター
 デット・シンジケート・ヘッド
 野村サステナブル・ビジネスフォーラムメンバー

- キャピタル・マーケットで26年近く勤務。ソロモン・ブラザーズにてリスク管理、クレディ・スイスにてユーロボンド・トレーディングとシンジケートに10年間従事し、当社入社前はメリルリンチにて金利シンジケートの責任者を務める
- 野村に13年勤務し、デット・シンジケートの責任者を務める。SSA¹、金融機関、新興市場、法人、MTN、サステナビリティ商品分野をカバーするマルチアセットクラスの債券ビジネスに従事
- 英国ラフバラー大学にて政治学と経済学の学位を取得、1995年卒業

チーム体制

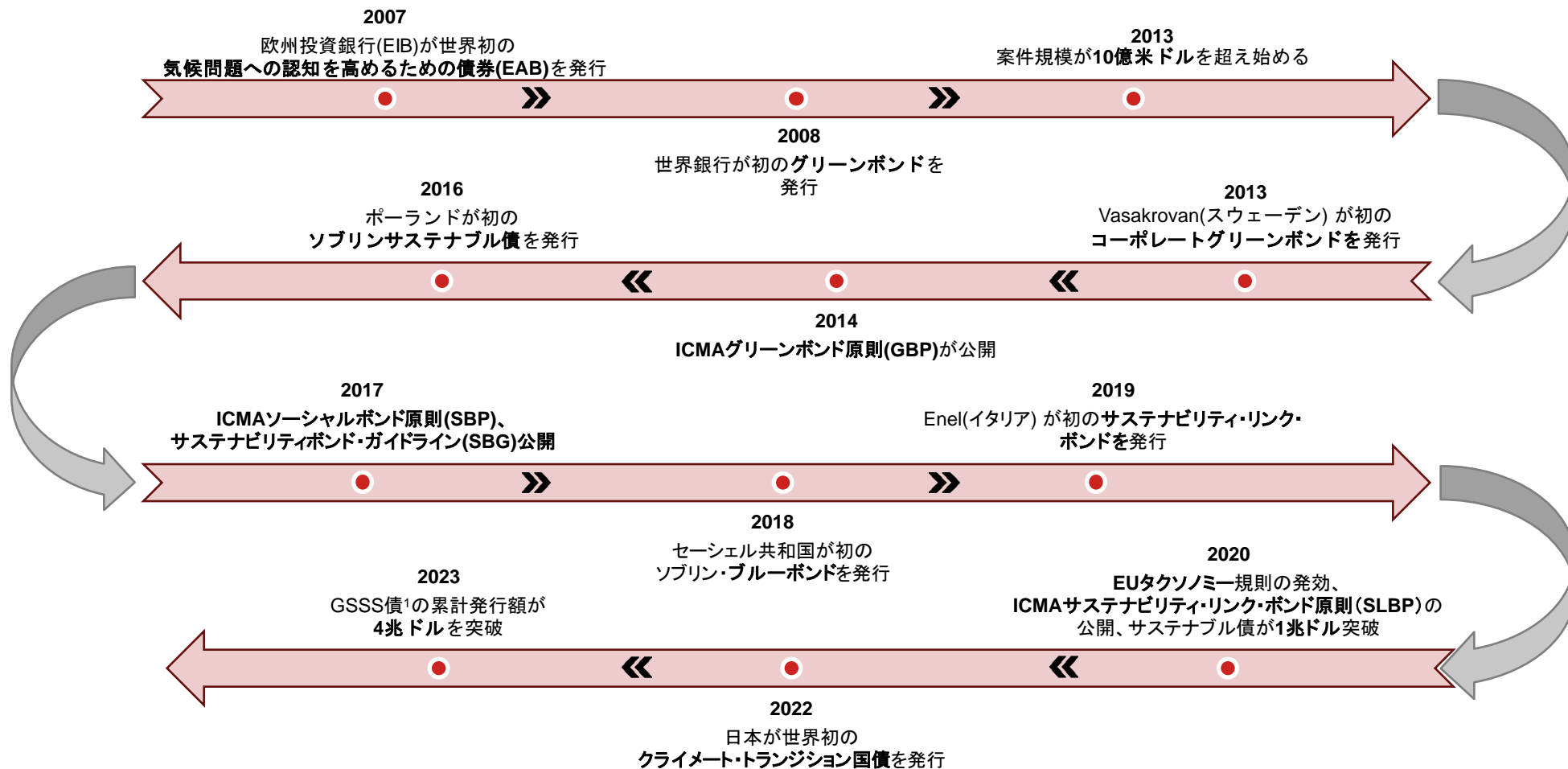


1. 外国ソブリン債 (Sovereign) / 国際機関債 (Supranational) / 政府系機関債 (Agency) の略

主なマイルストーンと市場の進化

- 急速なイノベーションや規制の整備に伴い、市場が飛躍的に成長、同時に商品性やアクセシビリティも拡大

これまでの軌跡

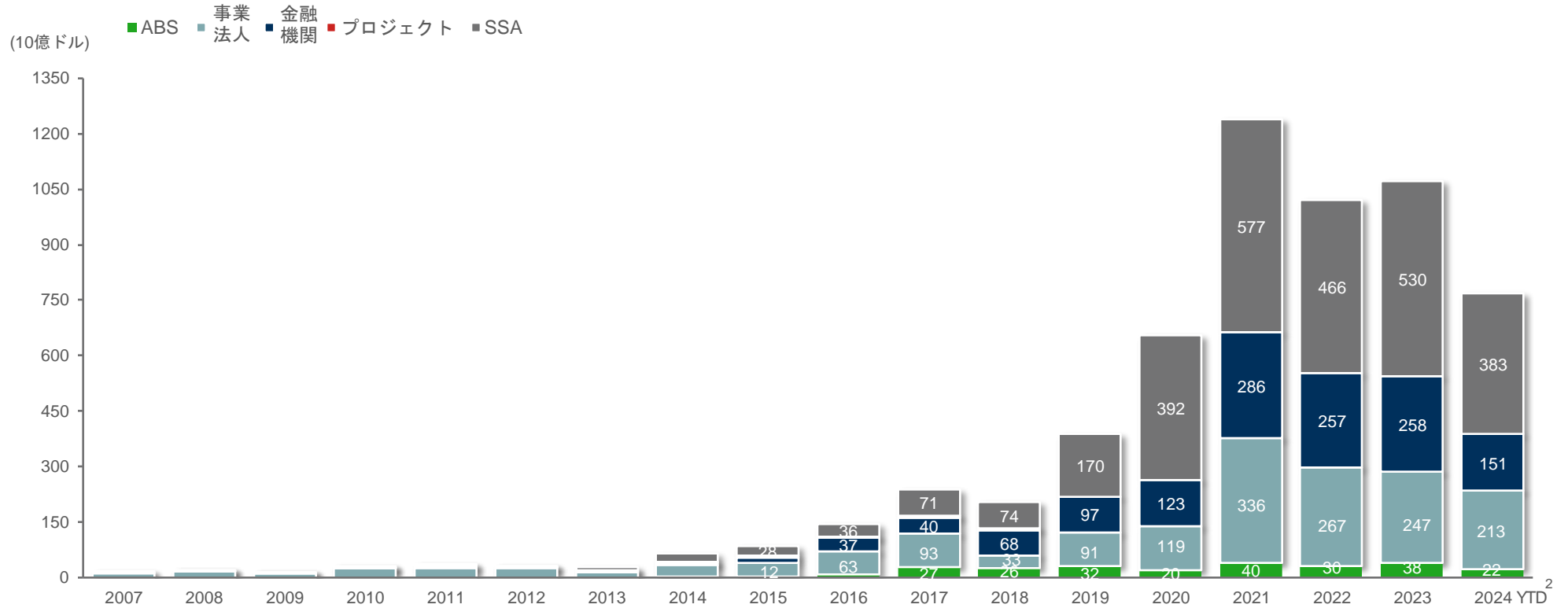


1. green, social, sustainable, and sustainability-linked (GSSS) の略

マーケットの成長

- サステナブル債券市場は責任投資の高まりを反映して目覚ましく成長。萌芽期を経て、SSA¹、事業法人、金融機関を含むさまざまな発行体からの需要によって加速度的に拡大

サステナブル債の発行額 - SSA¹が最前線に



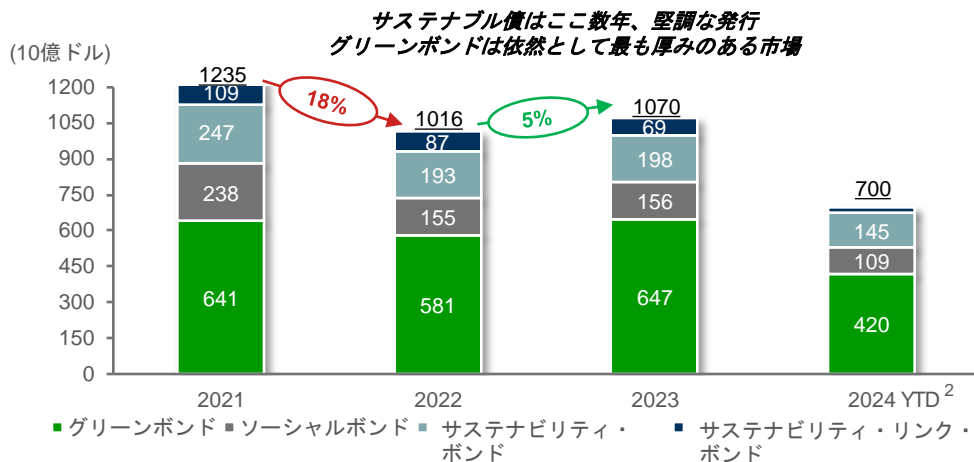
1. 外国ソブリン債 (Sovereign)/国際機関債 (Supranational)/政府系機関債 (Agency) の略

2. 出所: Bloomberg New Energy Finance; 2024年7月31日現在。金融機関には銀行、保険会社、資産運用会社、プライベート・エクイティ、REIT、金融リース会社が含まれる。

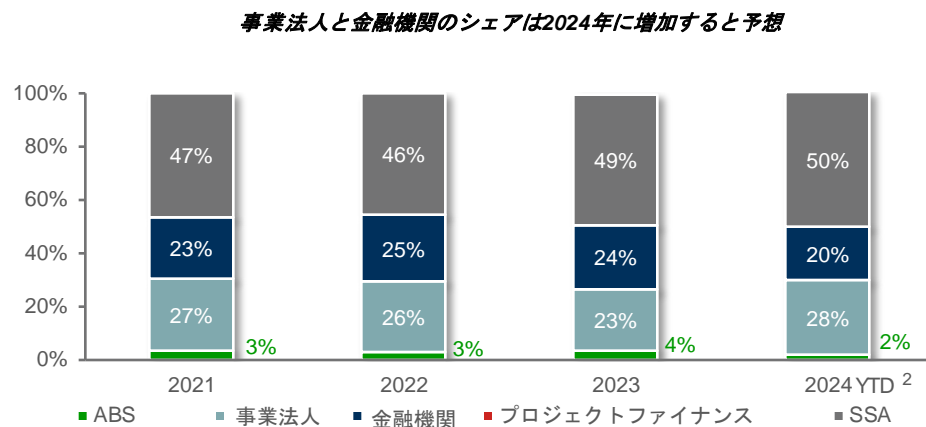
マーケット動向

■ グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティ・ボンド、サステナビリティ・リンク・ボンド、トランジション・ボンドを含むサステナブル債券市場は、サステナブル・ファイナンスへの世界的な注目を背景に成長

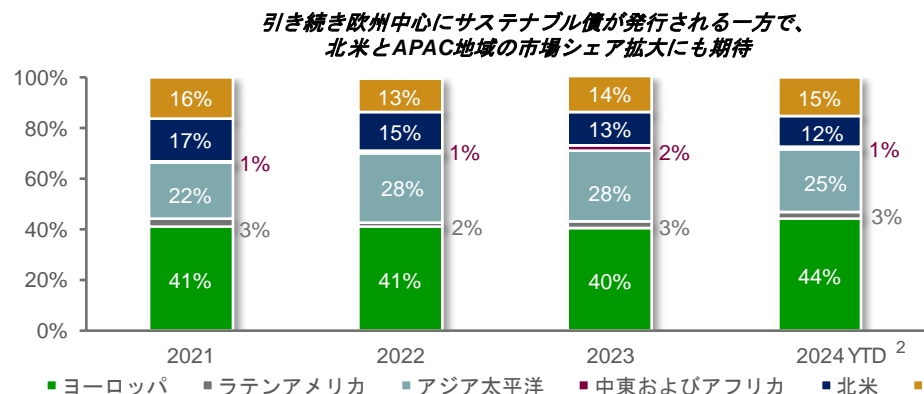
サステナブル債の発行一質の確保のための小休止



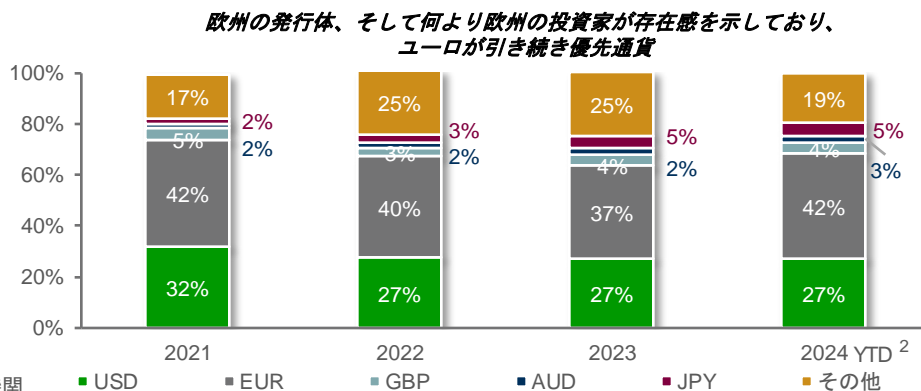
発行体属性別内訳—SSA¹が引き続き最前線



地域別内訳—欧州が引き続き台頭



通貨別内訳—引き続きユーロが主要通貨



1. 外国ソブリン債 (Sovereign)/国際機関債 (Supranational)/政府系機関債 (Agency) の略

2. 出所: Bloomberg New Energy Finance; 2024年7月31日現在。金融機関には銀行、保険会社、資産運用会社、プライベート・エクイティ、REIT、金融リース会社が含まれる。

インターナショナルDCM ~ サステナブル・ファイナンスの概要

- 当社は、過去数年にわたりサステナブル債引受において大きく成長、広範で確固たる戦略により、世界のサステナブル債市場で優位な地位を確保

インターナショナルDCMについて

- サステナビリティ・フォーラムでは、持続可能性に関するさまざまな取り組みを統括
- 成長分野への継続的な投資とサステナビリティ分野における社内機能を強化
- プロダクト間でサステナビリティ関連の連携を強化

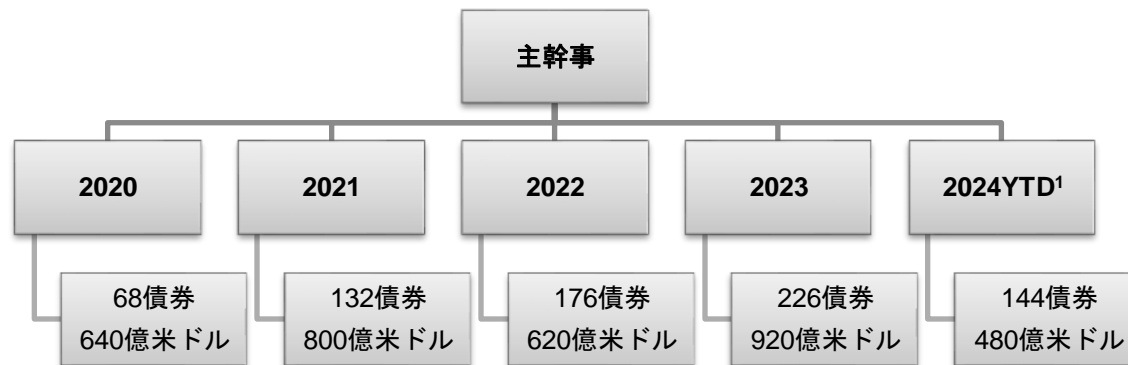
DCMのハイライト

受賞:

- Lead Manager of the Year
環境ファイナンス分野における
トランジション・ボンド・アワード
2023
- Investment Bank of the Year
The Banker誌にて投資銀行賞
持続可能なSSA²ファイナンス
2022
- Lead Manager of the Year
環境分野におけるコーポレート・
ソーシャルボンド・アワード 2022

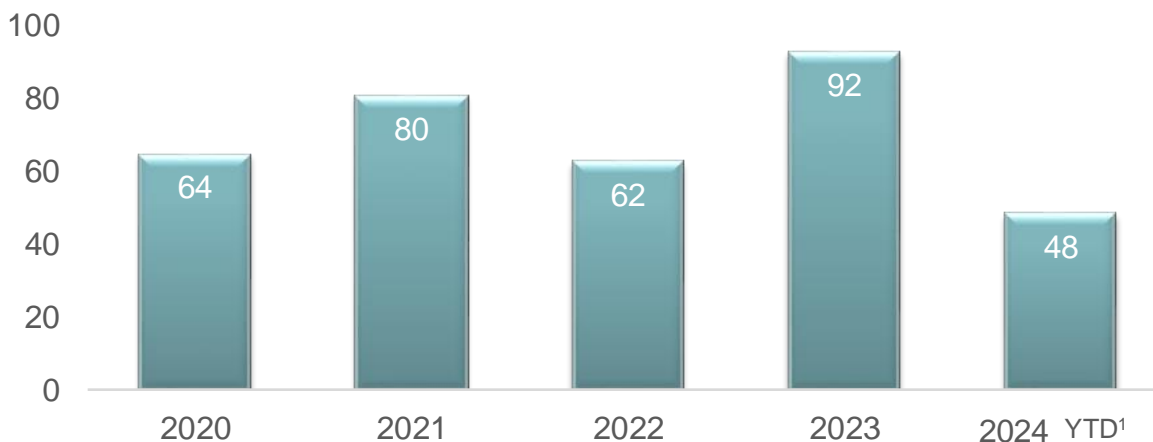


サステナブル・ファイナンス、資本調達



(10億ドル)

当社が関与したサステナブル債の発行総額¹



1. 出所: Bloomberg; 2024年8月28日現在
2. 外国ソブリン債 (Sovereign) / 国際機関債 (Supranational) / 政府系機関債 (Agency) の略

競争優位性

当社の強み

ESGレーティング

- S&P: 63
- MSCI ESG: AA
- サステナリティクス: 20.6
- CDP: A-

早い時期からのコミットメント

- グリーンボンドやソーシャル債券市場に早くから取り組み、初のテーマ別売債を発行、COVID-19レスポンス債で主導的な役割を果たす

グローバル・クロスボーダー

- グローバル・クロスボーダー取引を成功させることで専門性を示す

業界を牽引するオピニオンリーダー

- 当社は、MaishuやSustainable Finance Monthly、ESG Now (サステナブル・ファイナンス・カンファレンス) などの出版物の発行を含め、市場の発展を推進するリーダーとしてコミット

当社の最近のサステナブル債実績

メキシコ合衆国 SDGサムライ債 1.430%償還2027年8月 1.720%償還2029年8月 1.880%償還2031年8月 2.270%償還2034年8月 2.930%償還2044年8月 152,200,000,000円 2024年8月	日本政策投資銀行 サステナビリティ債 4.000%償還2027年8月 6億米ドル 2024年8月	カナダ年金制度投資委員会 グリーンボンド 4.700%償還2027年7月 10億豪ドル 2024年7月	欧州評議会 開発銀行 ソーシャル・インクルージョン・ボンド 4.625%償還2027年6月 110億米ドル2024年6月	国際開発協会 サステナビリティ債 4.375%償還2029年6月 40億米ドル 2024年6月	ワロン地域 (ベルギー) ソーシャルボンド 3.900%償還2054年6月 7億5000万ユーロ 2024年5月	アラブ エネルギーファンド グリーンボンド 5.428%償還2029年5月 7億5000万米ドル 2024年4月	バンコ BPM グリーンボンド 4.875%償還2030年1月 7億5000万ユーロ 2024年1月
--	---	--	---	--	---	---	---

1. 外国ソブリン債 (Sovereign)/国際機関債 (Supranational)/政府系機関債 (Agency) の略
 2. 出所: Bloomberg; 2024年8月27日現在

実績 - グローバルSSA¹債

グローバルSSA¹債券引受ランキング



競争優位性 ~ 業界を牽引するオピニオンリーダー

- 各業界団体での活動を通じ、マーケットの進化を牽引するリーダーとして、当社は、ICMAのソーシャルボンド原則(日本版ソーシャルボンドガイドライン)の日本への導入およびカテゴリーの拡大に尽力

業界を牽引するオピニオンリーダー



ICMAグリーンボンド原則、
ソーシャルボンド原則における諮問委員会
の2023と2024のメンバー



国連「責任銀行原則」(PRB)に署名



金融向け炭素会計パートナーシップ
(PCAF)メンバー



ICMAグリーンボンド原則および
ソーシャルボンドのメンバー
とワーキング・グループ・メンバー



ネットゼロ・バンキング・アライアンス
(NZBA)のメンバー; 2022年3月期~2026年3
月期の5年間で1,250億ドルの持続可能な資
金調達を行うことにコミット



ロンドン証券取引所サステナブル・ボン
ド・マーケット・アドバイザーグループ
のメンバー

NICMR

野村サステナビリティ研究センター



ホールセール部門：
ESGセクター・アペタイト・ステート
メント

TCFD

第1回タスクフォース
気候関連財務情報開示(TCFD)報告書



GFMA「Climate Finance Market
Structure」報告書(野村によるスポン
サーシップ・リーダーシップ)

展望 ～ 力強い成長が見込まれる市場

- 旺盛な需要に牽引されたサステナブル市場における最新の市場動向や規制動向、成長機会などを詳細にレビュー

今後の課題



積極的な規制

- ✓ EUタクソミー
- ✓ CSRD(企業サステナビリティ報告指令)
- ✓ SFDR(サステナブルファイナンス開示規則)
- ✓ SEC気候情報開示規則



- ✓ AI-データおよびRegTech
- ✓ 発行および報告におけるDLT(分散型台帳技術)およびブロックチェーン技術の利用
- ✓ デジタル債の発行



- ✓ 自然資本と生物多様性
- ✓ ブルーボンド
- ✓ アウトカム・ボンド(インパクト・ボンド)
- ✓ サーキュラーエコノミー



- ✓ 地域の成長-APAC
- ✓ 新興市場における発行の急増
- ✓ 欧州-主要ハブ

重要な要素—トランジション・ファイナンス



日本のグリーントランスフォーメーション政策

日本は、世界初のGX経済移行債を発行し、この分野の重要なプレーヤーとして台頭しつつある



2年連続でICMA原則諮問委員会メンバーであり、ICMAグリーンボンド原則およびソーシャルボンド原則のワーキング・グループ・メンバー



当社は現在、トランジション・ボンドで世界第1位の地位を占めている。これらの債券は、気候変動対策のために資金を調達する上で、削減が困難なセクターを支援している



ネットゼロを達成するには、多額の設備投資が必要である。サステナブル債に取り組む企業は、これらの取り組みを推進する上でプライベートファイナンスの貢献が不可欠であると強調している



一人ではできないことも、
同じ志を持つ仲間たちとなら達成することができる。

様々な力を結集することで、サステナブルな歩みを加速させ、
豊かな社会の創造に貢献しています。

Disclaimer

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものです。その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料のいかなる部分も一切の権利は野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報(「将来予測」)を含む場合があります。また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因として は、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト(<https://www.nomura.com>)、EDINET(<https://info.edinet-fsa.go.jp/>)または米国証券取引委員会(SEC)ウェブサイト(<https://www.sec.gov>)に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。